

問1 ロシアは広大な国土に豊富な鉱産資源を有しており、国の経済においてエネルギー資源の輸出が重要な役割を担っています。ロシアにおける石油や天然ガスの輸出状況について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 1. 石油や天然ガスを輸送するためのパイプラインが敷設されており、主にEU（欧州連合）諸国へ輸出している。 | 2. 採掘された資源のほとんどは国内の大都市での消費に回され、近隣諸国への輸出は厳しく制限されている。 | 3. EU諸国から石油や天然ガスを輸入し、国内の工業地帯に供給することで工業化を進めている。 | 4. 広大な国土を移動させるために鉄道輸送が主軸となっており、パイプラインによる国外への輸出は行われていない。 |
|---|---|--|---|

問2 北欧に位置するノルウェーでは、国内の総発電量の約9割以上を特定の再生可能エネルギーでまかっています。この国で最も主要な発電方式はどれですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 水力発電 | 2. 風力発電 | 3. 原子力発電 | 4. 火力発電 |
|---------|---------|----------|---------|

問3 ロンドンは北緯50度を超える高緯度に位置しており、日本の札幌（北緯約43度）よりも北にあります。冬の気温は札幌よりも高く、比較的穏やかです。その主な要因について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため | 2. 寒流である千島海流の影響を避けつつ、大陸から吹き出す乾燥した季節風を遮断しているため | 3. 赤道付近で暖められた空気が貿易風によって運ばれ、年間を通じて安定した高気圧に覆われるため | 4. 大陸内部で発生する移動性高気圧の影響により、冬でも晴天の日が多く日照時間が極めて長い |
|--|---|---|---|

問4 国土の大部分が冷帯（亜寒帯）に属し、内陸部では冬の寒さが厳しく降水量が少ない気候の特徴を持つ国があります。この国において、米やとうもろこしの生産量が極端に少なく、小麦の生産が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。

（2016年 東京都公立入試 類似）

- |                              |                            |                              |                               |
|------------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから | 2. 小麦は熱帯の多雨な地域での栽培に適しているから | 3. 乾燥帯において大規模な灌漑施設が整備されているから | 4. 温帯の地中海性気候を利用して冬の降水で栽培を行うから |
|------------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------------|

問5 北緯51度に位置するロンドンの1月の平均気温は約5.8度であり、より低緯度に位置する東京（5.2度）やバンクーバー（4.0度）よりも温暖な数値を示しています。このように、西ヨーロッパの高緯度地域が、同緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖である理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1. 低緯度から流れてくる暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため | 2. 大西洋を北上する寒流が沿岸部の冷気を吸収し、さらに一年中長く季節風が熱帯の空気を運んでくるため | 3. 地中海から吹き抜ける偏西風が、アフリカ大陸の乾燥した熱風を西ヨーロッパ全域に供給し続けているため | 4. 北大西洋海流という暖流の影響で上昇気流が発生し、冬の強い日差しを遮る雲を偏西風が吹き飛ばすため |
|--|--|---|--|

問6 ロシアの領土において、ヨーロッパとアジアを分ける境界となっている山脈と、その東側のシベリア地方から極東にかけて広がる広大な針葉樹林の名称の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

- |                |                 |                 |                  |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. ウラル山脈 — タイガ | 2. ウラル山脈 — ツンドラ | 3. アルプス山脈 — タイガ | 4. アルプス山脈 — ツンドラ |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|

問7 日本のエネルギー供給は石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料が8割以上を占めていますが、ドイツなどのヨーロッパ諸国では、これら化石燃料の割合を6割程度に抑える一方で、太陽光や風力などを利用したエネルギーの供給割合を2割以上に高めています。このような、自然界に常に存在し、繰り返し利用することが可能なエネルギーの総称として正しいものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

- |              |               |             |            |
|--------------|---------------|-------------|------------|
| 1. 再生可能エネルギー | 2. バイオマスエネルギー | 3. 原子力エネルギー | 4. 化石エネルギー |
|--------------|---------------|-------------|------------|

問8 西ヨーロッパや中央ヨーロッパの広範な地域で行われている農業の特徴について、気候条件と生産内容の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。（2026年 兵庫公立入試 類似）

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 年間を通じて安定した降水があるため、小麦などの穀物生産と家畜の飼育を組み合わせている。 | 2. 夏の乾燥に耐えるため、オリーブやぶどうなどの果樹栽培と小麦の生産を組み合わせている。 | 3. 冷涼な気候で穀物栽培が難しいため、牧草地を広げて乳牛の飼育と乳製品の加工に特化している。 | 4. 広大な平原と肥沃な黒土を利用して、輸出用の小麦のみを栽培する大規模な単一経営を行っている。 |
|--|---|---|--|

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**石油や天然ガスを輸送するためのパイプラインが敷設されており、主にEU（欧州連合）諸国へ輸出している。**
- ロシアは世界有数の原油・天然ガスの産出国であり、その輸出は国家の財政を支える重要な柱となっています。シベリアなどの産地から、陸上に網の目のように張り巡らされたパイプラインを通じて、エネルギー需要の高いEU諸国へと資源が送られています。このエネルギー供給を通じた経済的結びつきは、ロシアとヨーロッパ諸国の関係において非常に大きな意味を持っています。
- 問2** **答え 1**  
**水力発電**
- ノルウェーは北緯の高い位置にありながら、偏西風と暖流の影響で降水量が多く、またフィヨルドなどの急峻な地形が発達しています。この豊かな水量と落差という自然条件を最大限に活用することで、総発電量のほとんどを水力発電で供給しています。
- 問3** **答え 1**  
**暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため**
- ロンドンが属する西岸海洋性気候の大きな特徴は、高緯度のわりに冬が温暖であることです。これは、北極側へ流れる暖流の北大西洋海流が海水を温め、その上の温かく湿った空気が偏西風（一年中西から吹く風）によってヨーロッパ大陸の西岸へと運ばれてくるためです。対して、大陸東岸にある札幌などは冬に大陸からの冷たい季節風の影響を強く受けるため、ロンドンよりも低緯度であっても気温が低くなります。
- 問4** **答え 1**  
**小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから**
- ロシアは広大な国土を持ちますが、その多くが冷帯（亜寒帯）に位置しています。モスクワなどの内陸部では1月の気温がマイナス10度を下回るなど冬の寒さが厳しく、年降水量も約600mm弱と決して多くありません。このような厳しい環境下では、成長に温暖な気候や多くの水分を必要とする米やとうもろこしの栽培は困難ですが、寒さに強い作物である小麦の生産には適しているため、主要な穀物生産品目となっています。
- 問5** **答え 1**  
**低緯度から流れてくる暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため**
- 西ヨーロッパの冬が温暖なのは、高緯度まで流れ込む暖流の「北大西洋海流」と、その上空を西から東へと吹く「偏西風」の組み合わせが要因です。暖流によって温められた海上の空気が、偏西風に乗ってヨーロッパ大陸の西側に運び込まれることで、ロンドンのように北緯50度を超える高緯度であっても、日本の都市より1月の気温が高くなるような現象が起こります。日本のように冬に大陸から冷たい空気が流れ込む「季節風」の影響を強く受ける地域とは対照的な仕組みです。
- 問6** **答え 1**  
**ウラル山脈 —— タイガ**
- ロシアを地理的にヨーロッパ側とアジア側に分ける境界にはウラル山脈がそびえています。その東側に位置するシベリア地方などの冷帯（亜寒帯）地域には、マツやモミなどの針葉樹からなる広大な森林地帯が広がっており、これをタイガと呼びます。ツンドラはさらに北の北極海沿岸に見られる、草やコケ類のみが生える地帯を指します。
- 問7** **答え 1**  
**再生可能エネルギー**
- 地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素の排出を抑えるため、世界的に石炭や石油といった化石燃料への依存を減らす取り組みが進んでいます。ドイツなどのヨーロッパ諸国では、地形や気候条件を活かした風力発電や太陽光発電の導入を国を挙げて推進しており、これらは自然のサイクルの中で繰り返し得られるため再生可能エネルギーと呼ばれます。日本においても導入が進められていますが、2015年時点の統計では供給割合が1.5%にとどまるなど、欧州諸国と比較して普及に向けた課題が多いのが現状です。
- 問8** **答え 1**  
**年間を通じて安定した降水があるため、小麦などの穀物生産と家畜の飼育を組み合わせている。**
- フランスやドイツ周辺などの地域では、安定した降水量を背景に、耕作と畜産を組み合わせた混合農業が展開されています。夏に乾燥する地域で行われる地中海式農業や、さらに北部の寒冷な地域や都市近郊で行われる酪農とは、気候条件や家畜・作物の組み合わせによって区別されます。